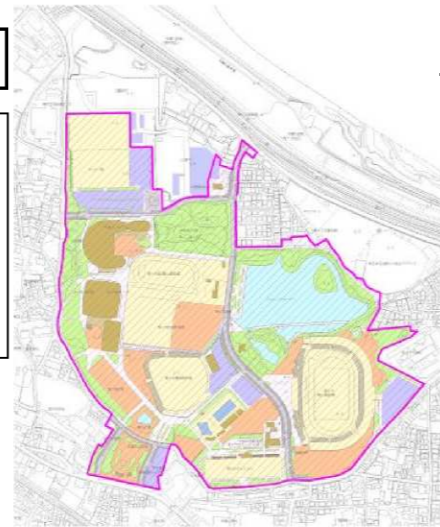


3 検討の前提条件

(1) 建築物についての条件(都市公園法の制約条件)

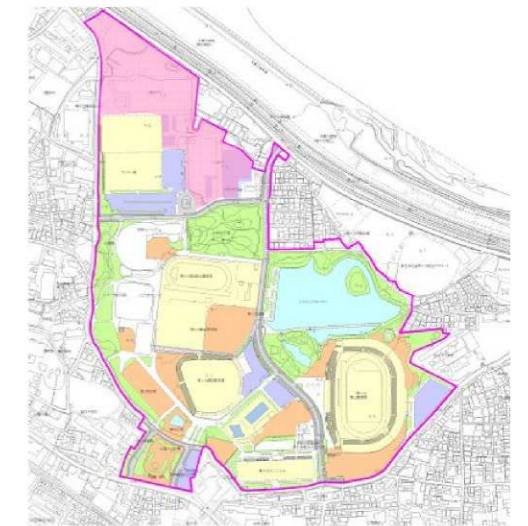
現在
●公園面積 366,278 m ²
●建築可能面積 366,278 m ² × 12% = 43,953 m ²
●運動施設率 366,278 m ² × 50% = 183,139 m ² 以下



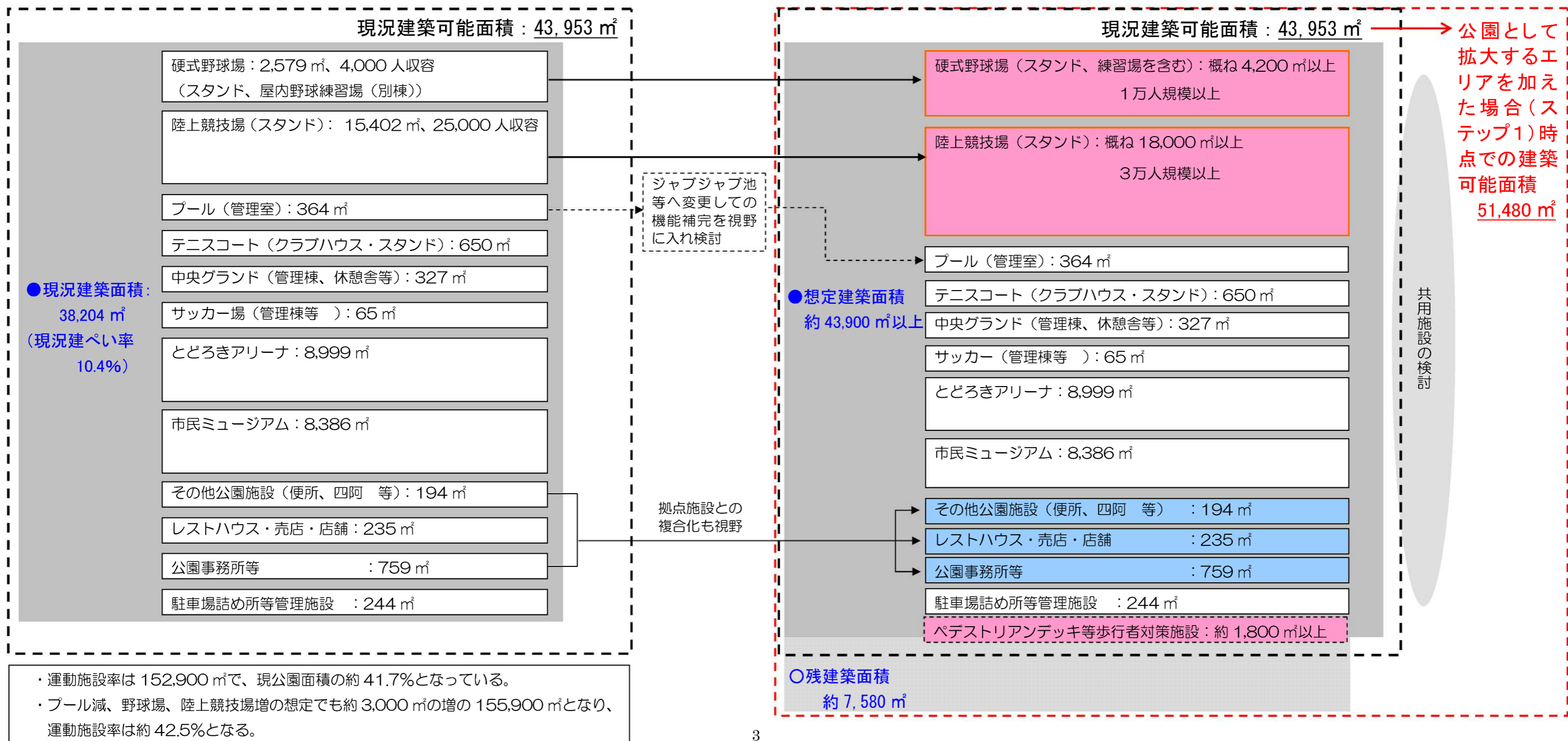
下水処理施設上部エリアの編入により

建築可能面積 7,520 m²増加

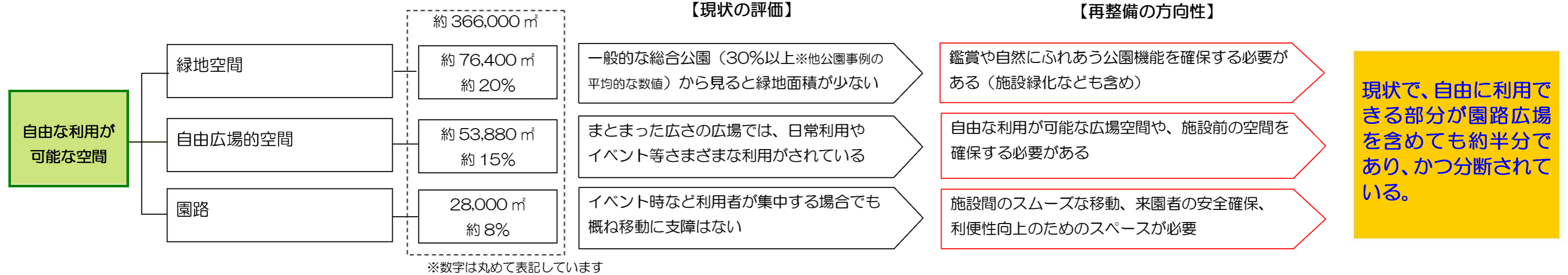
基本構想区域(STEP1)
●公園面積 429,000 m ²
●建築可能面積 429,000 m ² × 12% = 51,480 m ²
●運動施設率 429,000 m ² × 50% = 214,500 m ² 以下



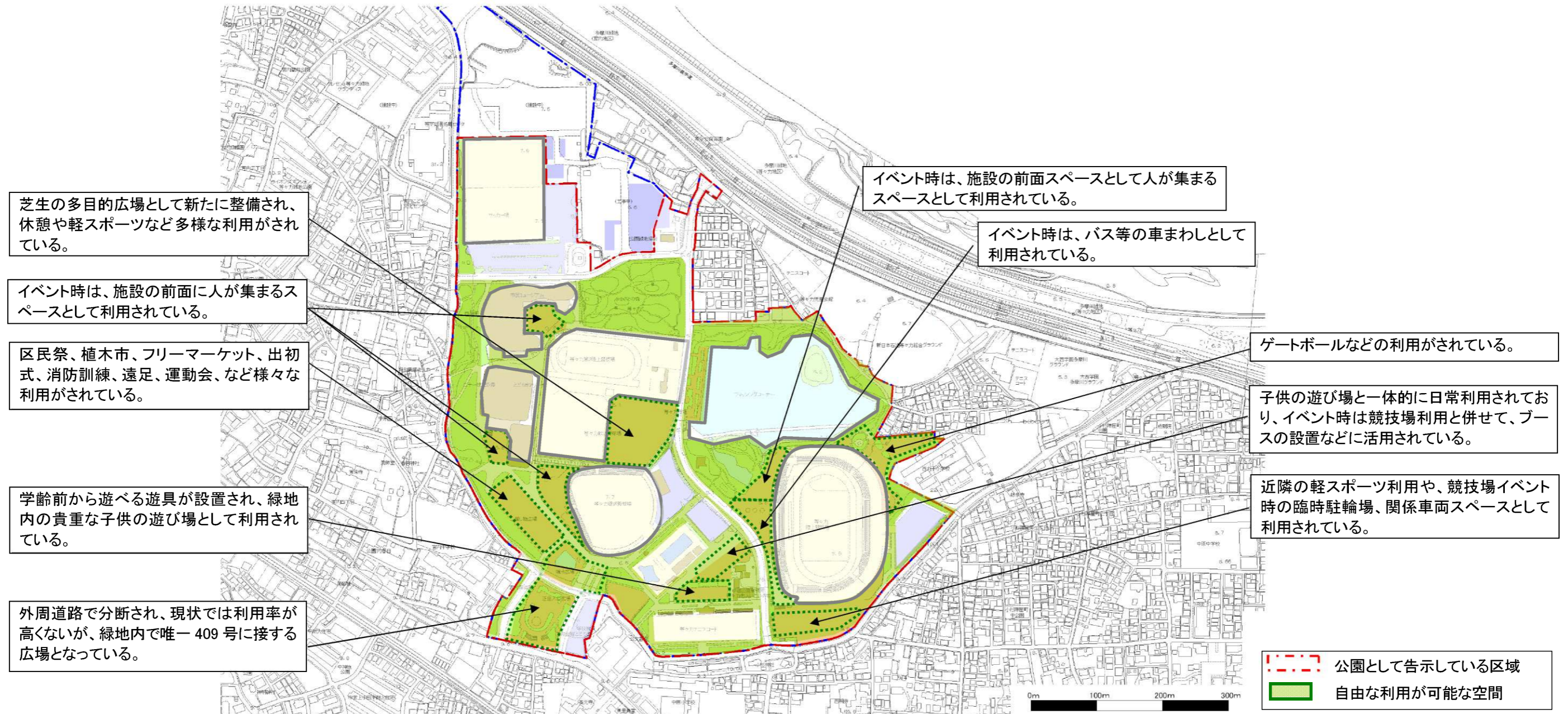
【施設計画シミュレーション】



(2) 緑・オープンスペースの現状と再整備の方向性



■ 現況のオープンスペースの使われ方

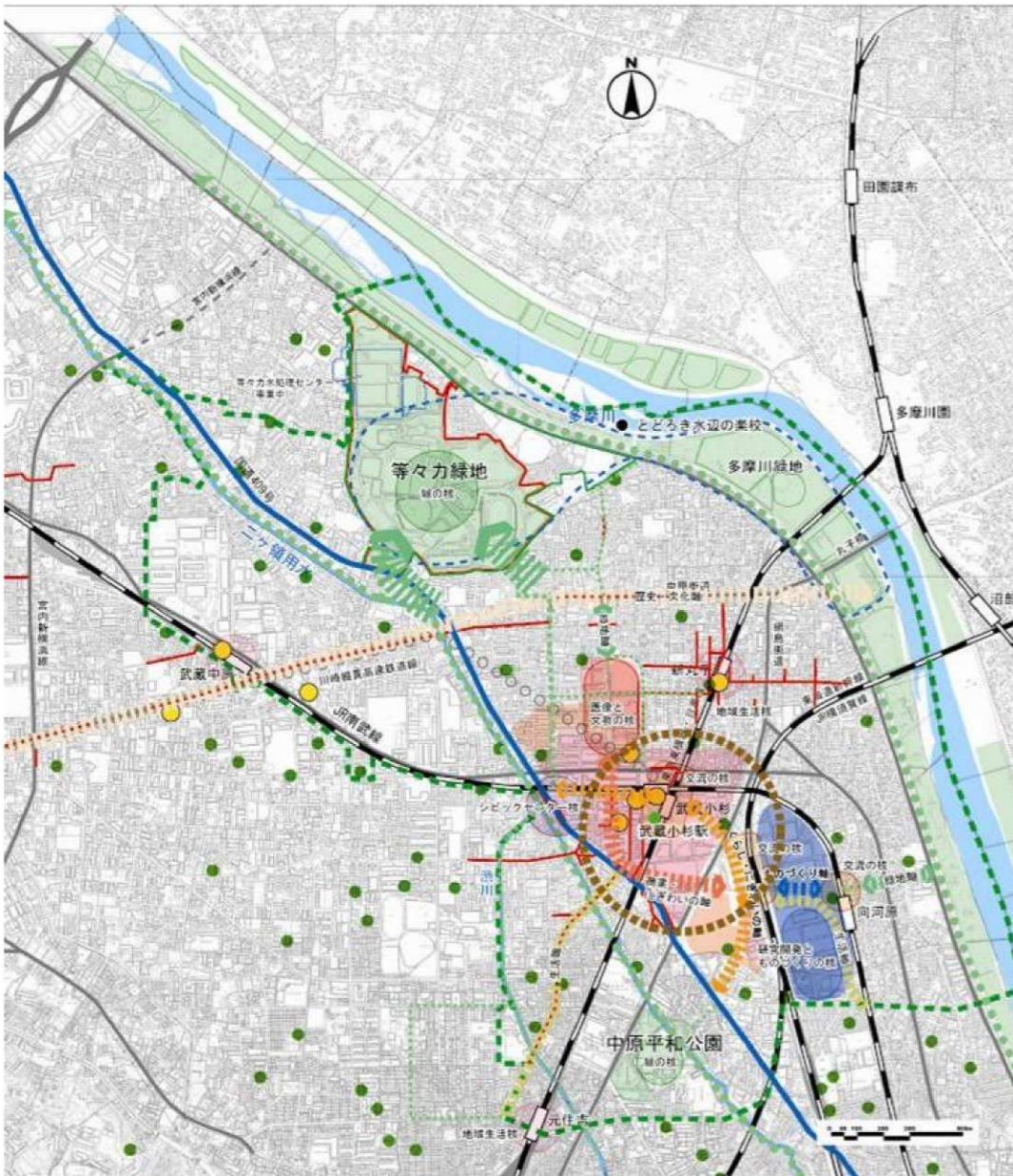


(3)公園へのアプローチの考え方

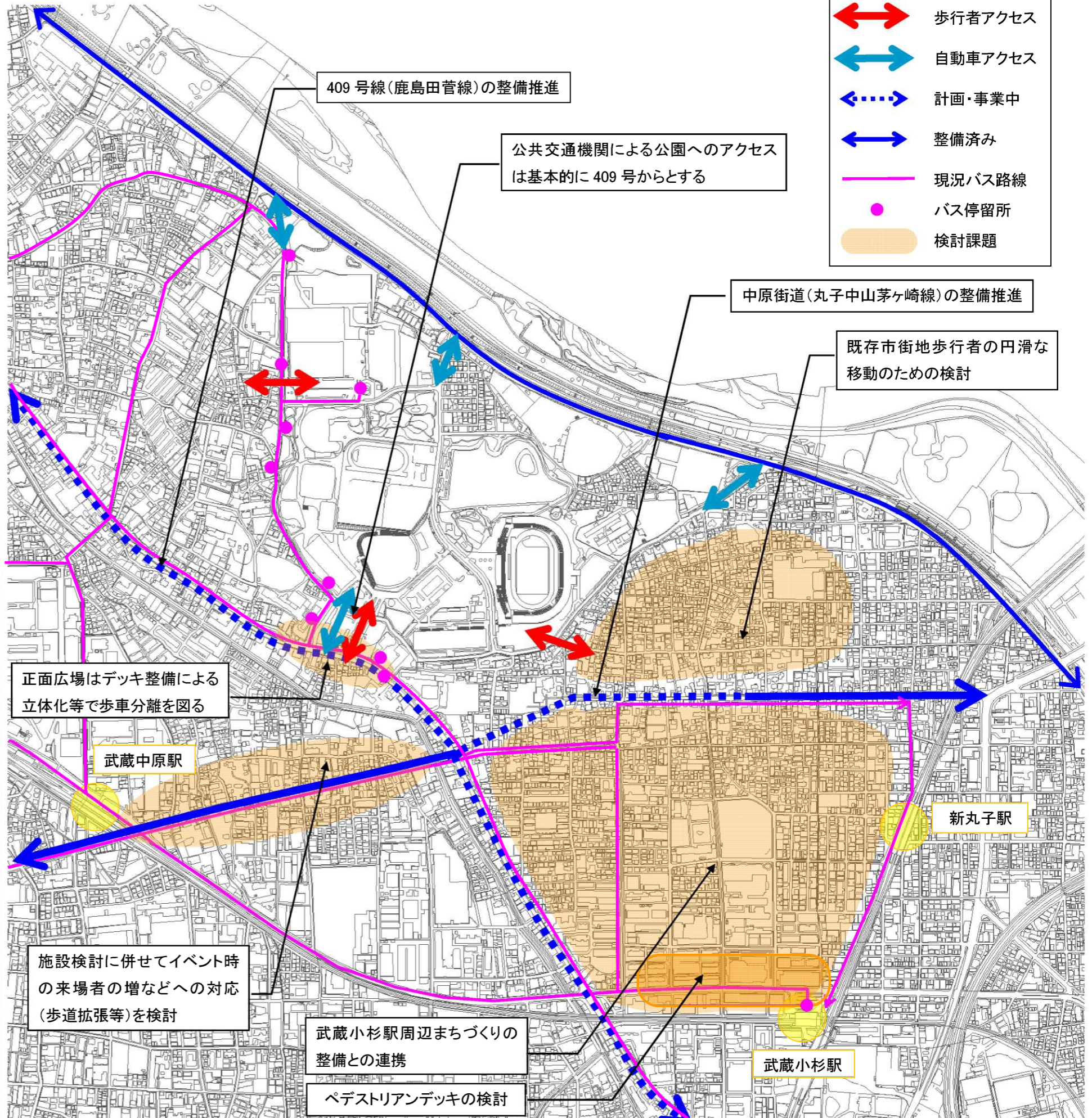
①周辺アクセス

- 武蔵小杉駅、新丸子駅、武蔵中原駅からの歩行者動線については、現況の道路の状況を踏まえ、歩道の確保や、既存サイン計画の活用、イベント開催者との連携、まちづくりと連携を図りながら今後検討を進めていく。
- 自動車動線については、409号線と多摩沿線道路両方への振り分けを基本に検討する。
- 409号については、メインエントランス整備計画との連携など、今後の事業化についての調整が課題となる。
- 公共交通機関の利用を原則として、利用促進のための交通整備を今後検討する。

■等々力緑地周辺広域図



■周辺道路計画



②公園へアプローチするポイント

多摩沿川道路

- 主に歩行者動線に関する検討事項
- 自動車動線に関する検討事項

【凡例】

- メインエントランス計画エリア
- サブエントランス想定位置
- ↔ 課題となる歩行者動線
- ↔ 課題となる自動車動線
- ⋯ 現況歩行者動線
- 駐車場(案)
- バス停(現況)
- バス停(案)
- ● ● 現況信号交差点

■409号線に面する正面広場をメインエントランスとして再整備

- ・十分な空間確保
- ・歩行者動線の再整備
- ・車両の出入口の整理
- ・公共交通機関乗り場等の検討

外周道路と利用者主動線を分離するため、立体化等を検討

公共交通機関の乗降位置を検討
(臨時バス乗降場、路線バス停位置など)

駐車場出入口方向の検討

自動車の流れを再度見直し、対面交通化や道路線形の見直しなどを検討

■東側サブエントランス周辺の再整備

- ・歩道の確保
- ・分かりやすいサブエントランス
- ・外周道路横断部の整備

公園東端からのアプローチの確保

サブエントランスと併せて公園内に歩道を確保できるよう検討

既存市街地歩行者の円滑な移動のための検討

駐車場の配置等の検討

歩行者、自転車、自動車の動線が集中するため、イベント時の動線等に配慮した交差点形状もしくは中央園路の廃止も含めた検討

